

広報

ていじ

【特集】

楽しい人生を送りたい

元気なうちから始める介護予防

(写真) 大神保育園の園児がイチゴ狩りを体験。
詳細は、15ページ

2009

7

No. 422

日出町の人口は平成21年4月1日現在、28,532人で、65歳以上の高齢者人口は6,665人、高齢化率は23・4%となっています。平成26年度には、65歳以上の高齢者人口は、7,400人以上になることが予想されており、高齢化は着実に進行しています。

前回の国勢調査では、65歳以上の高齢者がいる世帯は町内全世帯の40・9%に達しています。介護は受ける者だけではなく、その家族にとっても大きな問題です。

今月号では、町で行われている介護予防事業や介護施設で行われている介護サービスを紹介しながら、介護予防について考えます。

【特集】

楽しい人生を送りたい

元気なうちから始める介護予防

平原地区の脳リフレッシュ教室

この日は、堀義孝先生による音楽療法。昔の歌を歌うと、その当時の情景が蘇り、脳が刺激されるそうです。体も動かすことで、心と体の両面から介護予防ができるそうです。

第4期介護保険事業計画策定

計画の基本理念

○活力あふれる高齢者のまち

計画は、高齢者のみではなく壮年期の方を視野に入れた計画となつていきます。全ての町民が生きがいを持ち、安心して暮らせるように支援します。

○いつまでも健康で元気なまち

寝たきりや認知症の予防に焦点をあて、「健康で長生き、寝たきりにさせない」ために、保健、福祉、医療機関が一体となつて支援します。

○高齢者が自立できるまち

高齢者の状態の変化に応じた

予防期からの一体的なサービスを提供します。

○共に支え合うまち

地域ケア体制を充実させ、地域全体で高齢者を支えます。

介護予防を強化

介護保険事業計画は、介護が必要な方の数や介護サービス見込量を確保するための方策等を定めるもので、介護保険料算定の基礎にもなるなど、介護保険事業運営の基本となる計画です。

計画策定にあたり、保健・医療・福祉関連の学識経験者や住民代表

などで構成する「日出町介護保険事業計画策定委員会」を設置し、協議を重ねてきました。

また、住民の意向を反映するため町内の高齢者や要介護者の中から無作為に抽出した方にアンケート調査を行いました。

第4期を迎える中で、医療制度改革に伴う老人保健事業の廃止や療養病床の再編成が本格化されることにより、「施設で行う介護」から「在宅での介護」への動きが一段と加速されることが予想されます。

第4期介護保険事業計画は、高齢者がいきいきとした生活を送るために、介護予防への取り組みを一層強化する内容となりました。

介護保険では、要介護度によって受けられるサービスが異なります

●地域支援事業

介護認定審査で「非該当」と判定された方や地域の全ての高齢者を対象に、これからも元気であるためのさまざまなサービスを提供します。

●介護予防サービス

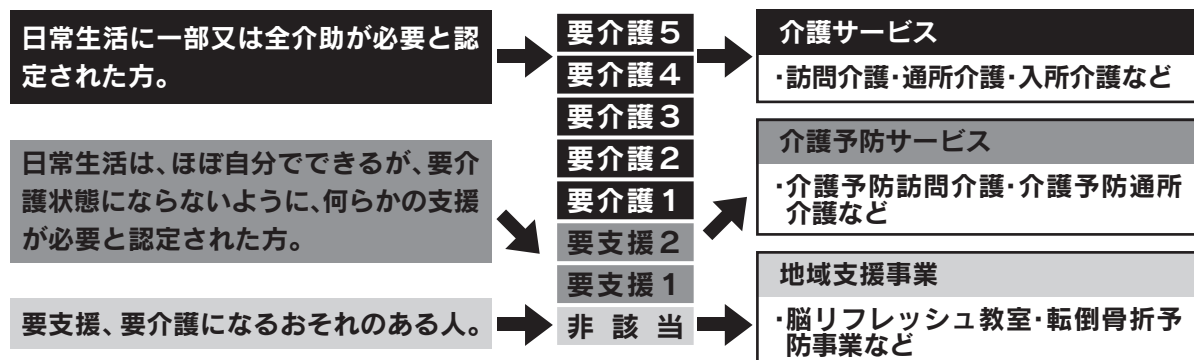
比較的生活機能の低下が軽度な方に対する保険給付として「新予防給付」が平成18年4月から始まりました。

これは、状態の改善と今より悪くならないことを目的としたサービスで、地域包括支援センターに相談し、ケアプランを作成してもらい、介護予防サービスを利用します。

●介護サービス

要介護と認定された方は、居宅介護支援事業者や介護保険施設に連絡し、ケアマネジャーにケアプランを作成してもらい、在宅や施設での介護サービスを利用します。

受けられるサービスの違いを表で説明したもの



まだまだ先のことなんて思わずに 今から始めよう介護予防

介護のことなんてまだまだ私には関係ないと思っ
ていても、もし介護が必要になった場合、以前の
状態に戻るには容易なことではありません。
介護予防は、元気な今のうちから取り組むこと
が大事です。



●プロフィール
地域包括支援センター所長
岩崎 初代

10年後、どうい う生活を送りたいのか考 えてみる

高齢化が急速に進む中、今後は
介護が必要になる高齢者も増加
することが予想されます。
歳を重ねると体力が落ち、身の
回りのことをするのに時間がかか
るようになります。これを「歳の

せいだからしょうがない」とあきら
めてしまうと体力の衰えはどんど
ん進んでいきます。
介護予防は、元気なうちから取り
組むことが大事です。
10年後に自分はどのような生活を

送りたいのかを考えてみる。誰もが
自分らしくいきいきとした生活を
送りたいと思うはずです。

介護なんてまだまだ先のことな
らぬ、実践していただきたい。

町では、すべての高齢者を対象
に、これからも元気でもらいた
いと、地域支援事業を行っていま
す。

地域支援事業では、地区公民館に
出向いて、転倒予防や認知症予
防などの教室を開催しています。
開催後は、地区の自主教室として継続して
実践していただいています。

参加者は、歌を歌ったりゲームを
したり、楽しみながら介護予防を
行っているようです。

仲間をつくり、励ましあいながら
介護予防に取り組むことで、より一
層効果があがります。

ぜひ、参加してみてください。

介護予防普及啓発事業

介護予防のための基本的な知識を普及させる
ため昨年度から始まった事業です。今後3年間で
町内全地区に町職員や指導員が出向き、家庭で
できる転倒予防運動の紹介や講演を行います。

写真は昨年行われた宗行地区での介護予防普
及啓発事業。



介護予防のためのストレッチ運動

●申込・問合せ 健康増進課長寿健康係
☎73-3130

長生きが目標ではないんです。人生の最後まで人の世話にならないように、それが私の目標。

平原地区

「脳リフレッシュ教室」

「それでは、みんなで『ふるさと
の歌』を歌いませう。始まった
のは、川崎の平原地区公民館で行
われた、「脳リフレッシュ教室」。

参加者は大きな声で、楽しそう
に歌い始めます。

「脳リフレッシュ
教室」は、月に1回の
開催で、合計12回行
われます。年間を通
じて行うことで、介
護予防への意識を定
着させることが目的
です。

教室の最初に必ず
みんなで歌を歌い、
次に指の体操やスト
レッチ運動などを行
います。これで、参加
者もリラックスでき
、笑顔で会話も弾みます。

その後、月ごとに変わるレクリ
エーションが行われます。今年度
は、万華鏡づくりや音楽療法、絵
手紙づくり、転倒予防のための講
演や体操などが行われます。

取材に行ったこの日は、陶芸教
室が行われていました。
新聞紙に巻かれたコップと陶
芸用の粘土が準備されていまし
た。



●プロフィール
平原地区 江藤 ハナさん (90歳)
日課は毎朝の散歩

当に楽しいですよ」と話すと。
矢野須恵子さんが「来る以上は、
絶対に皆勤賞を狙います」と笑顔
で話します。

「陶芸をする時には、指先を使
います。指先の運動は、脳を刺激
します。それに、何を作るの
か、創造力を働かせながら
作ることで、脳の活性化に
もつながります」と話すの
は、健康増進課に勤務する
保健師の上野みつこさん。

「みんな教室では生き生
きとしています。笑顔が
いっぱい楽しそうなん
ですよ。それで十分脳のリフ
レッシュは出来ていると思
います」と上野さんは話し
てくれました。

ただ、大切なのは、1年間
の教室が終わっても、地区で自主
的にこういった機会を作ってい
くことが大事なのだそうです。

上野さんは「教室はあくまでも
介護予防への意識づけに過ぎま
せん。この教室で学んだことを自

宅や地区で続けてもらいたい」と
話しました。

江藤さんは教室へ来るようにな
ってからは、自分でできる簡単
な運動を家でするようにした
そうです。日課は毎朝の散歩。パ
ズルをするのも好きだと言いま
す。「おかげで体も特に悪いとこ
ろはありません。長生きすること
は目標ではないんです。最後まで
人の世話にならないように生き
ていくことが私の目標なんです
よ」と笑顔で話してくれました。
写真を撮ろうとすると恥ずか
しそうにする江藤さん。この目標
が結果として長生きにつながっ
ているのだろう。



ストレッチ運動で体をほぐします

できることは、自分ですることが大事。自立への手助け

体の機能低下により日常生活に少し不安を感じている方は、申請して「要支援者」に認定されると、新予防給付を受けることができます。これは、本人が自立した生活を送れるように、介護予防サービスを受けながら機能低下の進行を防ぎ、回復へ向けた支援を行うものです。

平成18年4月に介護保険法の基本理念である「自立支援」を徹底する目的に「新予防給付」が始まりました。新予防給付を受ける対象者は、要支援者となり要介護者とは区別されます。私たちケアマネジャーは要支援者の症状が悪化して要介護者へと移行しないように、どのようなサービスの提供が必要なのか、要支援者やそのご家族と一緒に考えながら介護サービス支援計画書を作成します。

その後、サービス事業者を選定し、私たちケアマネジャーと本人、サービス事業者でサービス内容や

●プロフィール
地域包括支援センター
主任ケアマネジャー 宮本洋子



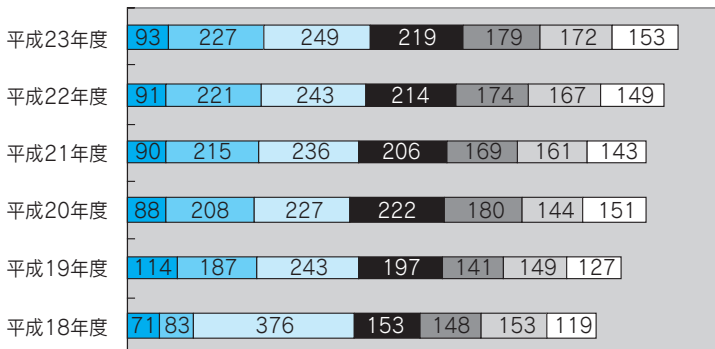
介護サービス支援計画書の作成にあたり、要支援者と打ち合わせをする宮本さん（写真左）

費用などについて確認を行います。介護サービス支援計画書の作成にあたっては、本人がどのような生活を送りたいと願っているのか、本人の意向をよく聞いてあげることが大事です。その生活に少しでも近づけてあげられるように支援計画書を作成します。でも一番大事なのは本人のやる気です。体は使わないでいると足腰は弱り、筋力は衰え、機能の低下が進行していきます。

自分でできることは、自分ですることが大事。あとは、介護予防サービスを利用することで、自立への手助けをしてもらいながら、少しずつ自分でできることを増やしていってもらいたい。

少しずつ自分でできることを増やしていってもらいたい

日出町の要支援・要介護認定者数の見込み



- 要支援1
- 要支援2
- 要介護1
- 要介護2
- 要介護3
- 要介護4
- 要介護5

左のグラフは、平成23年度までの日出町の要支援・要介護認定者数の見込み数を示したものです。

平成21年度以降を見ると、比較的要介護度の低い要介護度1までの方が、44%を超えています。

これらの方の介護度を進行させない取り組みが必要です。

リハビリを頑張ります。今後の人生を大きく変えるものだと期待して。

介護老人保健施設みずき 介護予防通所リハビリテーション

二宮さんは、今年の3月に介護認定の申請を行い、「要支援2」と判定されました。

その後、サービス内容を本人と話し合うため、地域包括支援センターのケアマネジャーとサービス事業者が二宮さん宅を訪問し、家族が同席する中、「介護予防サービス・支援計画書」を策定。介護保険施設に通いながらリハビリテーションを行う「介護予防通所介護リハビリテーション」を受けるようになりま

した。

二宮さんは、加齢による両下肢の筋力低下、両膝、両肩の運動機能が低下しています。

外出時には杖が必要な二宮さんは、晴れた日には少しの距離ですが散歩をし、家の中では杖を使わずにできるだけ自分の力で体を動かすように心がけているそうです。

以前は、花や庭木の手入れをしたり、友人と出かけたり、楽しい日々を送っていたという二宮さん。



●プロフィール
一北地区 二宮 六郎さん (81歳)
平行棒を使って歩行訓練

14年前、奥さんが亡くなつてから4年前に長男夫婦と一緒に生活するようになるまで一人で生活しており、料理や掃除などの家事は自分でしていました。

「長男夫婦に頼りすぎました。」と話す二宮さん。家のことはほとんど何もしなくなり、庭の手入れもしなくなつたそうです。

二宮さんは「体を動かすことが少なくなると、体はどんどんまわってききました」と話します。

「これではいけない」と一念発起。「また友人と旅行に行ったり、お茶を飲んだりしながら、楽しい人生を送りたい」と思うようになりました。家族の後押しもあり、介護認定の申請をすることにしました。



レクリエーションを楽しむ二宮さん

「長男夫婦に頼りすぎました。」と話す二宮さん。家のことはほとんど何もしなくなり、庭の手入れもしなくなつたそうです。

二宮さんは「体を動かすことが少なくなると、体はどんどんまわってききました」と話します。

「これではいけない」と一念発起。「また友人と旅行に行ったり、お茶を飲んだりしながら、楽しい人生を送りたい」と思うようになりました。家族の後押しもあり、介護認定の申請をすることにしました。

二宮さんは「リハビリを頑張ります。今後の人生を大きく変えるものだと期待しているんです」と力強く話してくれました。

担当する作業療法士の是永泰弘さんが「二宮さんは、介護予防のための体操にも積極的に参加し、自主的に訓練も行っています。状態が良くなりたいとの意識が強い方だと思います」と話してくれました。

二宮さんは「リハビリを頑張ります。通い始めて2カ月が経ちました。効果がでるまでにはまだ時間がかかると思いますが、ここに通い、他の利用者と励ましあい、楽しく会話しながら過ごすことで、心が晴れ晴れしてきます。良くなりたいとの意欲が出てきます。私にとってこのリハビリは、今後の人生を大きく変えるものだと期待しているんです」と力強く話してくれました。



滑車を使って両肩のリハビリ

夫婦二人、いつまでも自分たちの足で
歩き続けたい。そして人生を楽しみたい。

「体にだけは、気をつけて」と

きっかけは、娘さんの一言だった

田内さん夫妻が、健康に対して意識するようになったのは、10数年前のことでした。

それは、長女的美恵子さんが、転勤で大阪に行く時でした。遠くに行くことで、なかなか会えなくなることを心配した美恵子さんから、「2人とも元気でいてね。健康にだけは気をつけてね」と言われたことがきっかけでした。

それまでは、自分たちはまだまだ若いから、健康にも体力にも自信があると、自分たちの健康について考えることがなかったそうです。

しかし、美恵子さんからの一言で、ふと将来のことを考えてみたとき「このままで、本当に健康を維持していけるのか」と不安を感じたという良二さん。

八重子さんも、「娘に迷惑をかけるわけにはいかない」と、良二さんと同様に健康について意識するようになりました。

最初に、行動にうつしたのは八重子さんでした。保健福祉センターで



竹工芸をする良二さん

開催されていた体操教室に通い始めました。「ここでいい仲間に出会えました」と八重子さん。仲間に誘われ、町が実施する日出町健康運動普及推進員の養成講座を受講し、7年前に「グループさわやか日出」に入会しました。週に1回、保健福祉センターに出向き、ストレッチの方法や器具の使い方、指導したり、各地区公民館に出向き、転倒を予防するための運動指導をしたりしています。

良二さんは、八重子さんの入会から3年後、「グループさわやか日出」に入会しましたが、趣味の竹工芸に専念したいと、今年の3月に退会しました。

二人は、「自分たちの持っている知識をもっと、他の人に広めていきたい」と、仲間と一緒に「日出フィットネスクラブ」を立ち上げ、

まだまだ、いろんなことに挑戦していきたいんです。



●プロフィール

- 影の木区 田内 良二さん（72） 八重子さん（72） 夫妻
- ・良二さんの趣味は竹工芸と卓球。日課は毎朝4キロのウォーキングと八重子さんと参加する地区開催のラジオ体操。
- ・八重子さんの趣味は陶芸。

毎週土曜日に、川崎ふれあいセンターでストレッチ運動やエアロビクスなどを指導しています。

「いろいろな人との出会いがとても楽しみなんです。勉強になることも多いし、何より自分たちも元気がもたえます」と話す良二さん。

「腕が上がるようになったんですよ」「肩こりがなくなりました」

と参加者から言われると、本当にうれしし、やりがいにもつながります」と話します。

八重子さんは「教室に通っている人は同世代の方が多い。ここで学んだことを続けていってほしい、いつまでも元気でいてもらいたいと思いつながら指導しています」と話します。

二人は、町内に一人でも多くの元

気なお年寄りが増えてもらいたいと願っています。

時間をみつけては竹工芸に没頭すると言う良二さんは、趣味を通じて、たくさんの友人ができたそうです。良二さんは、「心の健康も大事なんです」と話します。同じ趣味をもつ仲間との楽しい会話は、気持ちをリフレッシュさせてくれるのだと言います。

八重子さんも、家にずっといるよりも、何か楽しみをみつけたいと陶芸教室に通っています。

良二さんは「まだまだいろいろなことに挑戦していきたいんです。それには、まず健康でなければいけません」と、また「夫婦二人、お互いいつまでも自分たちの足で歩み続けたい。そして二人で人生を楽しみたい」といきいきとした表情で話してくれました。



陶芸をする八重子さん

後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方へ

新しい保険証を送付します。

保険料額決定通知書を送付します。

限度額適用・標準負担額減額認定書の有効期限は7月31日です。

7月中旬に

新しい保険証を簡易書留で送付します

○お持ちの黄色い保険証は、7月末で有効期限が切れます。8月からは新しい保険証を使ってください。

○新しい保険証は薄い緑色です。

○医療費の負担割合は、平成20年中の所得に基づいて判定されます。

○8月になっても保険証が届かない場合には連絡して下さい。

7月中旬に
保険料額決定通知書を送付します

平成21年度の保険料が決定しま

したので、保険料額決定通知書を送付します。

保険料の納め方については、通知書の「期別保険料額」をご覧ください。

○特別徴収額の欄に保険料額が記入されている場合は、その月の年金から天引きされます。

○普通徴収額の欄に保険料額が記入されている場合は、納付書または口座振替で保険料を納めていただきます。

限度額適用・標準負担額減額認定書の申請を受け付けます

限度額適用・標準負担額減額認定書は、入院する際に必要になります。

現在お持ちの限度額適用・標準負

担額減額認定書の有効期限は、平成21年7月31日です。

引き続き必要な方は改めて申請をしてください。

【発行の条件】

世帯全員の平成21年度町県民税が非課税であること。

【申請に必要なもの】

保険証・印鑑・過去1年間に合計入院日数が90日を越える場合には、そのことが分かる証明書（領収書等）

問合せ

○保険証や限度額適用・標準負担額減額認定証については：健康増進課 国保医療係 ☎73・3133

○保険料については：税務課 住民税係 ☎73・3123

ラジオ放送「真打ち競演」の公開録音が行われました

放送日は7月6日・7月13日

NHKのラジオ第1放送で、毎週月曜日に放送している演芸番組「真打ち競演」の公開録音が、6月10日に中央公民館で行われました。

漫才や漫談、落語などの楽しい演芸が披露され、会場は笑いの渦につつまれていました。

●放送日 【1本目】7月6日(月) 21時5分～21時55分 出演者(コント山口君と竹田君、松鶴家千とせ、柳亭市馬)

【2本目】7月13日(月) 21時5分～21時55分 出演者(ビックボーイズ、江戸家小猫、柳家さん喬)

あの名曲は 暘谷城を思ったもの

その②

瀧廉太郎記念音楽会
プロデュース担当 堀 義孝

先月号で、瀧廉太郎と木下ユキが親戚であり、また友人関係にあったということを書きましたが、今月号では、2人の接点について検証したいと思います。

廉太郎とユキの接点・場所

「ユキが三味線を弾いていると廉太郎がよく垣根越しに聞きに来ていた」、「ユキがよく城内で廉太郎とかくれんぼをして遊んでいた」と言われるその場所についてですが、ハツは16代藩主・俊愿の側室となったため、三の丸に移り住むようになりました。その頃に、廉太郎と接点があったようです。

瀧家代々の家は、現在の日出幼稚園がある場所です。その家から垣根越しに聞くとなると、西側と南側は道路だったので、東側か北側がユキの家であったのではないかと考えられます。

ユキの孫である小林さんとユキは、宇佐市で一緒に生活していま

した。その頃に小林さんは、ユキから廉太郎の話を聞きました。

小林さんは、ユキに連れられて木下家のお墓参りをするため日出にはよく来ていたそうですが、ユキが三の丸に住んでいた家には、連れて行ってもらったことがないため、その場所は特定できないとのことでした。

ユキは、「家には、比較的大きなサザンカの木があって、よく木登りをして遊んだ」と言っていたそうです。私が、「日出中学校に大き

なサザンカの木があります」と尋ねると、小林さんは、「そのサザンカは私もよく知っていますが、それではないようです」と言われました。

この場所については、日出の郷土史を研究されている方々にお話を伺いながら、特定していきたいと思えます。

廉太郎とユキの接点・時代

次に廉太郎とユキが一緒に遊んだのはいつ頃なのかということですが、廉太郎が明治12年生まれで、ユキが明治11年生まれ、ユキのほうが1つ年上ということになります。

ユキは、廉太郎と遊んだ頃の年齢を10歳くらいだったと言っています。

たそうです。

日出小学校創立100周年記念誌によると、ユキは明治19年に暘谷学校に入学していますので、10歳の頃は、暘谷学校の3年生ということになりました。

一方、同じ頃、廉太郎は9歳であり、その頃、富山から東京の麹町小学校に転校した時期になります。

その時代、東京から日出まで来るのは、容易なことではなかったと思われ、廉太郎とユキの接点はこの時代ではないと考えられます。

明治23年4月、廉太郎が11歳の時、父親の転勤で大分市に一緒に移り住みました。

その後、廉太郎は明治24年12月に直入郡竹田町に移り、明治27年までを過ごしています。そして、その年の9月には、東京の音楽学校に入学しています。

私は、廉太郎とユキの接点は、廉太郎が大分市と竹田市に住んでいた4年間ではないかと考えています。

廉太郎は、「荒城の月」を作曲する前の年に、「古城」を作歌しています。

来月号では、この「古城」と「暘谷城」の関係について書きたいと思えます。



中央公民館にある
瀧廉太郎の銅像

県営住宅入居者募集

県営日出豊岡住宅2戸

都市建設課管理係 ☎73-3172

⑥	⑤	④	③	②	①
住宅に困っていること。	独立して生計を営んでいること。	入居者名義の持ち家がないこと。	税金の滞納がないこと。	入居者の合計所得が年額189万6千円以下であること。	県内に住所を有する、又は勤務先が県内にあること。

次の全てに該当する人

●**応募資格**

2会議室

●**抽選日** 8月10日(月)10時

役場新館3階33

7月31日(金)

7月1日(水)

●**募集期間**

*浴槽、ポイラーは入居者負担。下水道設備有。

●**駐車場** 1台のみ

(月額2,000円)

●**家賃** 16,100円

6,600円

●**構造** 中層耐火構造

●**地43**

●**ところ** 豊岡6060番

障がい児就学相談会

教育委員会学校教育課

☎73-3171

*相談会は個別に行われます。

●**費用** 無料

8月12日(水)

●**申込期限**

8月12日(水)

●**相談員**

教育委員会指導主事等

●**対象者**

来年度就学予定の障がいのある児童の保護者または関係者

●**とき**

9月中旬

●**ところ**

中央公民館

●**対象者**

来年度就学予定の障がいのある児童の保護者または関係者

障がいのある児童の就学相談会を行います。

介護予防出前講座

健康増進課長寿健康係

☎73-3130

介護予防事業として、介護予防出前講座を実施しています。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

開催を希望する区があります。

思い出に残る成人式を自分たちで企画してみませんか

平成22年1月10日に行われる成人式の企画運営をしてみたいという方を募集します。

式の受付や進行、催しなど、自分たちで企画から運営までを行い、思い出に残る成人式をつくっていただきたいと思います。

●**対象** 平成22年の成人式参加者。(平成元年4月2日～平成2年4月1日生まれの方)

個人、グループは問いません。

●**応募締切** 8月20日(木)

●**申込・問合せ先** 教育委員会生涯学習課 ☎73-3156

上深江	三尺山	中野	北大神	内野	内野	内野	西小深江	辻の尾	則次	則次	一川	南	南	南	上仁王	上仁王	佐尾	本町	本町	西の三	西の二	西の一	影の木	中の二	長野	住所
阿南	中野	野田	安部	加地	永井	金丸	竹内	早水	佐藤	河野	阿南	阿南	菅元	幸野	佐藤	秦	末松	末松	磯貝	宇都宮	地蔵堂	渡邊	中尾	吉岡	出生児	
蓮斗	碧斗	燕斗	もあ	龍斗	優斗	優斗	琉斗	舞斗	叶斗	夏斗	佑哉	杏優	琉衣	姫愛	栞帆	望遥	里桜	志桜	優斗	優斗	優斗	優斗	優斗	優斗	優斗	性別
男	男	女	女	男	男	男	男	女	男	男	男	女	男	女	女	女	女	女	女	男	男	男	女	男	男	性別
裕彦	雅章	裕太	誠	政義	浩二	幸政	直隆	哲也	貴広	大樹	修仁	敏幸	太希	直人	吉弘	秀生	秀生	真樹	保裕	俊典	栄治	雅也	雅也	保護者	保護者	

お誕生おめでとう

(5月受付分)
(敬称略)

観光ボランティアガイド募集

ふるさと「ひじ」を愛し、訪れる方々に心のおもてなしをしませんか

日出町では現在、暘谷城趾周辺に歴史風情のある街並みを形成するために整備を進めています。ここを日出町の観光の拠点にしようと、「暘谷城二の丸館」なども建設する予定です。

「いろいろな人と交流をしたい」・「町外からのお客様さんに日出町の良さを知ってもらいたい」という方、観光ボランティアとして活躍してみませんか。

資格や年齢など一切問いません。

一定期間の研修終了後、認定ボランティアガイドとして活動していただきます。

●**申込期限** 7月31日(金)

●**申込・問合せ先**

日出町観光協会 観光ボランティアガイド係

☎: 72-4255

FAX: 72-9044

Eメール: kankou-kyoukai.hiji@fuga.ocn.ne.jp

日本脳炎を予防しよう！

福祉対策課子育て支援係

☎73-3121

●日本脳炎を予防するために次のことに気をつけましょう

○蚊の発生を減らすために、住宅周辺に水たまりを作らないように心がけましょう。
○外出する時は、できるだけ長袖、長ズボンを着用し、蚊除け剤などを使用しましょう。

●日本脳炎の予防接種

6月から新しい日本脳炎ワクチン(乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン)が第1期(生後6カ月〜7歳5カ月)の定期予防接種として追加されました。

厚生労働省の通知により、予防接種の積極的な勧奨は行っていないが、接種を希望される方は、医療機関で相談のうえ、接種してください。

お母さん教室の開催

妊娠中のお母さんを対象に、妊娠中の生活についてのお話や調理実習をします。

●**申込** 開催日の10日前までに福祉対策課へ申し込んでください。

●**会場** 日出町保健福祉センター母子保健室

●**問合せ先** 福祉対策課

子育て支援係 ☎73-3121

日時	内容	持ってくるもの
① 8月4日(火) 10時～ 11時30分	「お母さんと子どもは守られています」 母と子の制度の話や妊娠中の過ごし方。	・母子健康手帳 ・母子健康手帳を交付した際に配布した資料 ・筆記用具
② 8月11日(火) 10時～ 12時30分	「妊娠・授乳期の食事」 管理栄養士によるお話や調理実習。	・②の講座はエプロンと三角巾が必要です
③ 8月19日(水) 10時～ 11時30分	「楽なお産をするために」 お産のしくみやおっぱいのお話。	

港	港	上深江	上深江	上深江	北大神	〔天神〕	内野	内野	内野	内野	則次	〔川崎〕	赤松	一北	〔藤原〕	南浜	〔日出〕	中の二	是城	〔豊岡〕
吉藤	高松	利光	菅勘次郎	上野	伊藤		竹友	竹友	田邊	河村	笠置		村田	浅野		合原		杉本	片多	
一	光枝	直次	トシエ	忠裕			健一	邦男	瞳	ヨシノ	利信		利生	ステ		英子		シカエ	昭二	
83	86	88	79	94	86		89	88	74	89	75		85	102		91		88	82	

御冥福を
おいのりします

(5月受付分)
(敬称略)

hiji report

町の話題やイベントを紹介するコーナーです。
身の回りの出来事や地域活動などの情報がありましたら、
下記までご連絡ください。

総務課広報広聴係 TEL: 73-3150
FAX: 72-7294

80歳になっても自分の歯を20本

母と子・高齢者のよい歯のコンクール



最優秀賞の坂本幸喜さん(写真左)、佐藤勇士くん(写真中)、
真由さん(写真右)

6月14日、日出町保健福祉センターで、「母と子・高齢者のよい歯のコンクール」が行われました。
母と子の部では、昨年の3歳児健診の際に、母と子にむし歯がなかった親子4組が参加。高齢者の部には、80歳以上で自分の歯が20本以上ある方3人が参加しました。

ようにしっかり歯磨きしていき「い」と話してくれました。
高齢者の部で最優秀賞に選ばれたのは、坂本幸喜さん(82歳)。
全て自分の歯だと言います。
会場では、歯の相談会も行われ、ブラッシング指導やむし歯予防のためのフッ素洗口に多くの家族が来場しました。

杵築速見歯科医師会(有永博会長)の医師が、参加者の歯並びや噛み合わせ、歯ぐきの健康状態、歯磨きが上手くできているかなどを審査しました。
有永会長が「歯の状態は脳や体の健康にも影響します。80歳になっても20本以上の自分の歯を保ちましょう」とあいさつ。
母と子の部で最優秀賞に選ばれたのは、佐藤真由さん(4歳)の親子。真由さんが「これからも良い歯を保っていきな

楽しく食事を!

6月は食育月間

毎月19日は食育の日

「食育の日」の6月19日、町内の買い物施設で、食育の日を啓発するリーフレットが入ったポケットティッシュやシールを買い物客に配りました。シールには毎月19日は食育の日と書かれており、カレンダーに貼れるようになっていきます。これは、食育について関心をもってもらうと、日出町食生活改善推進協議会(小野寺悦子会長)が行ったものです。小野寺会長が「毎月19日は、家族そろって楽しい食事をとってもらいたい」と話してくれました。



ティッシュを配る協議会の会員



田植えをする海渡くん（写真左）

泥の感触を楽しみながら

片原津区田植え体験

6月20日、片原津区の工藤ミチコさんの田んぼで、子どもからお年寄りまでおよそ40人が参加し、田植えを行いました。

これは、「片原津区農村環境保全会議」が子どもたちに農業の大切さを知ってもらいたいと開催したものです。子どもらは、2アールの田んぼにもち米の苗を丁寧に植えていきました。

大神幼稚園の大石海渡くんが「泥の中はきもちいい。田植えもとって楽しい」と話してくれました。年末に、このもち米を使ってもちつきも行う予定です。

万里先生の遺徳をしのいで

第158回「帆足万里忌辰祭」

町文化財保護委員長の利光正文さんと工藤町長がこれまで培ってきた文化や歴史を継承していくことが大事。その中で新しい町づくりをしていきたいなどとあいさつ。この後、全員で焼香をし、万里先生の遺徳をしのびました。

帆足万里は豊後の三賢の1人で、日出藩の財政の建て直しなどに貢献しました。



焼香をする参列者

帆足万里の命日である6月14日、佐尾区の墓前で第158回「帆足万里忌辰祭」が行われ、関係者およそ40人が参列しました。

とっっても楽しくておいしい

保育園園児がイチゴ狩りを体験

6月8日、大神の岩城保さん所有のイチゴハウスで、大神保育園の園児38人がイチゴ狩りを体験しました。これは、自分たちで摘み取った農産物を食べることで、園児に食について関心をもってもらおうと、岩城さんの提案で行われたものです。

園児は、赤く大きく実ったイチゴを見つけると、それを摘み取り口にはお張りしました。

初めてイチゴ狩りを体験した後、藤寿来ちゃんは「とっっても楽しくて、おいしい。持って帰ったイチゴ

は、ママとおばあちゃんに食べてもらいたい」と話してくれました。

園児は、お腹いっぱいイチゴを食べた後、バックに詰めて持ち帰りました。



イチゴ狩りをする寿来ちゃん

地域に貢献

日出ロータリークラブがベンチを寄贈



目録を渡す荒金会長(写真右)と児玉さん(写真中)

日出ロータリークラブ(荒金則之会長)が結成25周年を迎えた記念事業として、町営川崎運動公園のグラウンドに観客用ベンチ2台を寄贈しようと、5月29日、荒金会長と児玉重信さんが役場を訪れ、目録を工藤町長に手渡しました。

同クラブは、5年後ごとに記念事業を行っており、これまで、黒岩グラウンドにスコアボードなどを寄贈しています。

的山莊が営業再開

昼食のみで、20食限定



昼食に出される「懐石箱膳」

ていた成清恵司さんが料理長となり営業を再開することになりました。

恵司さんは、別荘として「的山莊」を建設した成清博愛^{ひろえ}氏の直系子孫にあたります。

再開を前に試食会を開催

6月8日、的山莊の営業再開を前に試食会が行われ、工藤町長や佐藤二郎町議会議長、清家孝県商工会連合会会長などが出席しました。

工藤町長が「的山莊は町指定の文化財であり、大切に保存していかなければいけない。的山莊が再出発できることをとてもうれしく思います」とあいさつ。

料理長の恵司さんが、「城下かれい料理だけの料理だけでなく、季節に応じてハモやフグ、地元魚を使った料理を出したい」と話しました。

料理は、「懐石箱膳」5千円で、2日前までに予約が必要。定休日、月曜日と第2日曜日。

●問合先 的山莊 ☎72-2321

城下かれい料理の老舗料亭である的山莊が、6月11日から営業を再開しました。当面は、20食限定の昼食のみでの営業。
 的の山莊は、建物の老朽化などの理由で、昨年1月から休業していましたが、「いつになったら営業を再開するのか」「また的の山莊で食事したい」などの問い合わせが多くありました。
 そこで、的の山莊で板前として働い

短歌



町民文芸

藤原 渡辺 睦子

新緑の心地よき風木かげにて
友と語らう雨期に雨なきを

藤原 村岡 祥子

年を重ね匂い好めるどくだみを
残して夕べの草取り終わる

川崎 立石 初子

夕闇の深まる病室のドア開けて
学校帰りの少年が立つ

豊岡 虻川内明子

肩の荷を下ろすが如く長年の
役職辞して春の町行く

大神 今村ムツミ

九十の坂に生いたる葦草
なお陽光を求めさゆらぐ

豊岡 武野 文子

千潮の海面に浮かぶ八畳岩
雨乞い神楽奉じし岩なり

大神 藤野 和子

枝先に開き初めしバラの花
夕陽が照りて更に赤くす

大神 小林 通人

中天に上弦の月白く浮き
さつき終りの入り日はあかし

俳句

藤原 手嶋 亜季

親をまつ 口くち口の つばめの子

日出 永松美知子

人憂きも 梅雨待つ花も ありにけり

豊岡 森永三千代

あじさいや ものうき朝は 霧の中

豊岡 坪田 京子

青田風 少女の髪を 吹き流す

日出 大野 仁王

紙袋 外せば枇杷の みずみずし

藤原 岸川 房子

ミカン咲く 坂道に香の 広がりぬ

日出 定平 勝義

風薫る 琴の音聞こゆ 城下町

定期相談

●行政相談

- ・役場新館3階332会議室
 - ・毎月第1火曜日 10時～15時
- 上記以外の時間帯は自宅で相談に応じます。
北野瑋彦相談員 ☎72-2634

●心配ごと相談

- ・役場新館3階332会議室
- ・毎月第2火曜日 10時～15時
- ・福祉対策課 ☎73-3121

●心配ごと相談・行政相談合同相談会

- ・7月21日火曜日 10時～15時
- ・藤原ふれあいセンター
- ・総務課 ☎73-3150

●日出町ホットライン

ボランティア団体による悩みごと、心配ごと電話相談 ☎72-3412

- ・月～金曜日の19時～21時

●障がい児・者教育相談

- ・社会福祉法人「樹の実園」杵築市大字相原 ☎0978-62-2111

●障がい児・者介護者支援相談

- ・社会福祉法人「みのり村」
- 「みのり学園」日出町大神 ☎0977-72-2818
- 「白萩園」 杵築市日野 ☎0978-62-2276

●障がい児・者生活支援相談

- ・太陽の家障害者生活支援センター ☎72-1682 (受付時間：7時～21時)

●高齢者総合相談

- ・日出町地域包括支援センター(健康増進課内) ☎73-3115

●家庭児童・母子婦人相談

- ・福祉対策課 ☎73-3121
- ・大分県東部保健所地域福祉室 ☎72-2327

●心の健康相談(無料)

- ・毎月第3水曜日 14時～16時
- ・東部保健所日出出張サービス会場 (日出総合庁舎1階) ☎67-2511 (要予約)

●交通事故無料相談

- ・大分自動車保険請求相談センター
- ・要予約 ☎097-536-5043 (9時～16時)
- ・弁護士相談日(水曜日：13時～16時)

●無料人権相談所

- ・大分地方法務局杵築支局 ☎0978-62-2271
- ・月曜日～金曜日 8時30分～17時15分

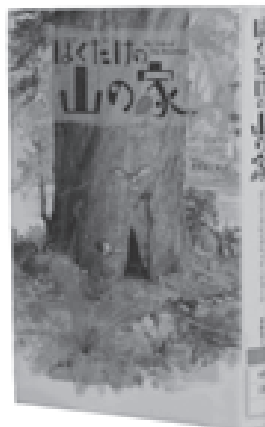
●法律相談

- ・日出町保健福祉センター 相談室
- ・毎月第4火曜日 13時30分～16時30分 (祭日の場合は休み)
- ・要予約 相談料30分につき5,000円
- ・大分県弁護士会 ☎097-536-1458

図書館においでよ

萬里図書館 ☎72-2851

今月の1冊



ぼくだけの山の家

ジーン・クレイグヘッ
ド・ジョージ : 著
偕成社 : 刊

ニューヨーク育ちのサムが家出をして向ったのは、かつて曾祖父の農場であった深い森。そこの大木の裏を住みかにし、狩った獲物や木の実を食料にして、たった一人で暮らすことに……。

美しい森の四季とたくましく成長する少年の姿がみずみずしく描かれている。

全米で50年間読み継がれてきた名作が初めて邦訳された。

7月の休館日

毎週月曜日、第2・4日曜日

7月の読み聞かせ

【ブー・フー・ウーによる読み聞かせ】

- とき 7月11日(土曜日) 10時30分～11時30分
- ところ 2階(おはなしのへや)
- 対象 幼児から小学校低学年

【FUMFUM(ふむふむ)による読み聞かせ】

- とき 7月24日(金曜日) 11時～11時30分
- ところ 2階(おはなしのへや)
- 対象 0歳から5歳くらいまで

子ども映画会

- とき 7月4日・18日(土) 10時30分～11時
- ところ 2階(おはなしのへや)
- 作品 アニメビデオの上映

こどもとしゃかんまつり

- とき 7月25日(土) 10時30分～12時
- ところ 2階(おはなしのへや)
- 内容 読み聞かせ、パネルシアター、工作など

6月から開館時間が変わっています

- 開館時間 9時30分～17時30分

その③②

日出町長
工藤 義見

第2回定例日出町議会開かれる

6月16日、会期11日間の日程で定例会が開かれ、議案8件、諮問1件、同意3件、報告5件を提案しました。

そのなかで議案第33号・平成21年度一般会計補正予算を提案しています。

地域活性化経済危機対策臨時交付金を活用した、これまでにない大型の補正予算として編成しました。

新たに2億2,849万円を予算化し、臨時交付金活用主旨に沿って、地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安全・安心社会の実現など、地域の実情に応じた地域活性化のための取り組みを中心に、事業を行います。

臨時交付金対象事業費は1億9,436万円となっており、具体的には次のような事業に使われます。

- ・災害に強いまちづくり事業
- ・地域イントラ基盤整備事業
- ・町民の健康増進事業
- ・保育サービス促進事業

- ・新型インフルエンザ対策事業
- ・プレミアム付商品券発行事業
- ・農業経営基盤強化販売促進事業
- ・漁船漁業活性化事業
- ・有害鳥獣対策事業
- ・耕作放棄地再生事業
- ・繁殖雌牛更新推進事業
- ・川崎運動公園整備事業
- ・学校ICT環境整備事業
- ・大神小学校体育館改修事業
- ・的山荘保存事業
- ・中央公民館ホール改修事業
- ・給食センター施設改善事業

これらの事業は、議会の議決を経た後、地域活性化や経済対策として早期に実施します。有効に活用し、雇用や景気浮揚につながることに期待します。

平成20年度決算見込みができました

5月31日の出納閉鎖をもって、平成20年度の決算見込みができました。

一般会計では歳入が80億2,062万円、歳出が78億4,248万円です。差し引きした形式収支は1億7,814万円です。そのうち7,252万円を翌年度繰越とするため、実質収支は1億562万円、実質単年度収支は1億7,195万円となる見込みです。

平成19年度は大幅な法人町民税の落ち込みに加え、地方交付税の減額が重なり、相当に厳しい財政運営を余儀なくされたことに比べると、平成20年度は比較的順調な決算見込みとなりました。

た。

平成19年度末の財政調整基金、減債基金残高は11億2,977万円でした。そこから大きな取り崩しもなく、平成20年度末残高では11億7,952万円と、わずかながら増加させることができました。

また、各特別会計の決算見込みでは、国民健康保険会計で5,182万円、簡易水道会計で31万円、介護保険会計で4,777万円、後期高齢者医療会計で143万円と、それぞれ剰余金を見込んでいます。

さらに、水道事業会計の収益的収入と収益的支出の差し引きは5,703万円となっており純利益で5,313万円を見込んでいます。

この他公共下水道事業、老人保健などの5つの特別会計は、いずれも歳入歳出差し引きゼロとなっています。

「陽谷城二の丸館」の建設に着手

いよいよ陽谷城趾周辺整備の一環として商工会館東隣りの町有地に、「陽谷城二の丸館」の建設に着手します。

これまで、開発に当たって遺跡発掘調査を実施してきました。その結果、種々の遺構はありましたが、計画の障害となるような遺跡はなく、このため遺構の埋め戻しを行いました。

さらに、同地にありました観光協会事務所や展示室を近くに移設しました。計画では、敷地面積1567㎡に3

38㎡の建物を配置し、バス3台、普通車12台の駐車場、公衆トイレを設けます。

建物には観光案内所、観光ポスター・パネル・土産の展示場、地域特産品販売コーナー、休憩などのできるスペースを設け、日出町の観光の中心となる施設として整備することとしています。

また、その周辺に裏門櫓、和風庭園などを配し、城下町の雰囲気なたたずむ空間とします。

観光客のみならず、多くの町民皆さんの憩いの場となることを期待します。

ウエルサンピアの3回目の入札会

ウエルサンピア大分日出は、独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構において第1回目の入札が2月、第2回目の入札が4月に行われましたが、経済情勢を反映して、いずれにも参加者はなく流会しました。

引き続き事業の継続を前提に、さらに低額での入札をお願いしましたところ、最低価格3億6,700万円、7月16日に3回目の入札が行われることになりました。

町として固定資産税の減免措置などを含め可能な限りの優遇措置や支援を申し入れていきます。

6月16日には内覧会が行なわれ、現在まで数社から照会、引き合いが寄せられており、今回は必ず落札者が現れると期待しています。(次号につづく)

日出町児童館
☎72-0323

レクリエーション大会(小学生以上)
●とき 7月11日(土)14時~16時
***申し込みが必要です。**

ストレッチ空手教室(4歳~小学生)
●とき 7月21日・28日・8月4日・11日(火)13時30分~15時30分
***申し込みが必要です。**

こども料理教室(小学生以上)
 お弁当を作ろう!
●とき 7月29日(水)10時~13時
●費用 100円
***申し込みが必要です。**
***エプロン、三角巾、タオル、水筒を持って来てください。**

楽しい絵本読み聞かせ(乳幼児)
●とき 7月15日(水)11時15分~11時45分

親子で楽しい3B体操(3歳~5歳)
 ママもリフレッシュできます。
●とき 7月22日(水)11時~12時
***体操ができる服装で。**
***申し込みが必要です。**

集団積み木で遊ぼう!(4・5歳児)
 たくさんのピースを使ってダイナミックに遊ぼう!
●とき 7月24日(金)13時~16時
***申し込みが必要です。**

親子実験教室(幼児~小学生まで)
 手作りカメラで写真を撮ろう。
●とき 8月1日(土)14時~16時
●費用 1人100円
***申し込みが必要です。**

親子料理教室(小学生以上)
 野菜を使った料理を作ります。
●とき 8月1日(土)10時~13時
●費用 1人100円
***申し込みが必要です。**

集団積み木で遊ぼう!(低学年)
●とき 8月3日(月)14時~16時

***申し込みが必要です。**

さざんか児童館
☎72-8383

赤ちゃん広場(0歳児)
●とき 7月6日(月)10時30分~
●費用 1組200円
***申し込みが必要です。**

親子で遊ぼう
 親子グループさん募集。
 年齢別に分かれて親子でいろいろな活動を行います。
 7月の活動は、7日~9日、14日~16日、21日~23日。

【ひよこグループ】

●対象 0~1歳
●とき 火曜日

【うさぎグループ】

●対象 2歳
●とき 木曜日

【ぱんだグループ】

●対象 3~5歳
●とき 水曜日

集まれ!ちびっこ(巡回児童館)
 親子でリズム遊びなどをします。
●とき 7月24日(金)10時30分~
●ところ 中央公民館

日出町地域子育て支援センター
☎28-1212

子育て広場(乳幼児)
 子育て情報の提供や交換、親子遊びの紹介や実施、読み聞かせ、講演会など。
●とき 月~金 9時~16時

子育て相談(乳幼児)
 子育てについての相談、栄養相談、感染症予防や対策。
●とき 月~金 9時~16時

出張子育て広場(就学前まで)
 いろいろなブロックで遊ぼう。
●とき 7月13日(月)10時~12時

●ところ 中央公民館

赤ちゃんリンパマッサージ教室(2歳まで)
●とき 7月16日(木)10時~12時
***バスタオル持参。**

赤ちゃん広場(0歳~、妊婦さん)
 赤ちゃんと一緒に楽しい時間を過ごしましょう。プレママのつどいも同時開催します。
●とき 7月7日(火)・21日(火)10時~12時

子育て支援UPプログラム
「パソコン講座」受講生募集

インターネット応用講座
 ブログを作成して、友達のを広げてみませんか。
●とき 8月4日・18日・25日(火)10時~12時
●ところ HITコミュニティーセンター(日出町弓道場隣)

エクセル応用講座
 オリジナルのカレンダーを作成します。
●とき 8月6日・20日・27日(木)10時~12時
●ところ 町保健福祉センター

パソコンお役立ち講座
 フォルダの管理、USBメモリやCDへの保存方法等、役に立つ使い方を勉強します。
●とき 8月7日・21日・28日(金)10時~12時
●ところ HITコミュニティーセンター(日出町弓道場隣)

各講座共通
●講座料 2,500円
●申込期限 7月24日(金)
***Windows Vista対応の講座ではありません。**
***有料託児有**
●申込・問合先 パワーウェーブ
 日出 ☎75-8637(9時~16時)

募集

しいたけ作り研修生募集

県内で原木しいたけ栽培を希望する意欲あふれる方を募集します。

▼研修内容・定員

○栽培基礎研修40人

○生産現場通型研修8人

▼開講日

9月13日(日)

▼ところ

きのこ研究所(豊後大野市三重町)

▼申込締切

7月31日(金)

▼問合せ

大分県東部振興局生産流通部野菜・椎茸班

☎0978・72・1141

夏休み親子献血教室参加者募集

大分県赤十字血液センターでは、献血について勉強するため小学校4年生から6年生の児童とその親を対象にした「夏休み親子献血教室」を開催します。

▼とき

8月2日(日) 9時30分～17時30分

▼ところ

献血ルームオアシス21

▼定員

親子20組(40人)

▼申込・問合せ

大分県赤十字血液センター
☎097・547・1151

試験

消防設備士試験

▼とき

9月6日(日) 10時～

▼ところ

日本文理大学

▼願書の配布

各消防本部

▼受付期間

7月16日(木)まで

▼提出先・問合せ

(財)消防試験研究センター大分県支部

☎097・537・0427

裁判所事務官採用Ⅲ種試験

▼試験日

9月13日(日)

▼対象者

昭和63年4月2日～平成4年4月1日までに生まれた方

▼申込期間

7月14日(火)～7月22日(水)

▼問合せ

大分地方裁判所事務局総務課人事第1係

☎097・532・7161

防衛省職員採用Ⅲ種試験

▼試験日

9月27日(日)

▼対象者

昭和63年4月2日～平成4年4月1日生まれの方

▼申込期間

7月1日(水)～7月17日(金)

夏の夜の大作戦

キャンドルナイト

ごみゼロおおいた作戦の一環で、7月7日に全県で実施されます。

20時から22時までの2時間、地球環境についてご家族で話し合ってみませんか? コンセントを抜くなど簡単な方法で取り組んでください。

●問合せ

大分県地球環境対策課

☎097-506-3024

▼問合せ

九州防衛局総務部

☎092・483・8815

講座・研修・教室

高齢者の健康・安全サポート講習会

誰もが迎える高齢期を健やかに過ごすために、知っておきたい病気の予防や、高齢者支援活動に役立つ知識、技術などを身につけるための講習会を開催します。

▼とき

7月14日(火)、15日(水) 9時～17時

▼ところ

日本赤十字社大分県支部3階会議室

▼対象

15歳以上で全日程参加できる方

看護力再開発講習会

職場復帰をしたいという保健師や助産師、看護師、准看護師の資格をもった方を対象に講習会を開催します。

▼とき

10月14日(水)～10月23日(金)の間の7日間 9時30分～16時30分

▼ところ

大分県看護研修センター

▼講習科目

看護の動向、病院における看護職員の役割と最近の看護業務について、看護過程と記録、

救急時の看護、老人看護、病院実習、就業相談

▼費用

資料代として2,000円

▼申込期間

8月3日(月)～9月4日(金)

▼申込

電話かFAXで申し込んで

出場者・チーム募集

糸ヶ浜ビーチフェスタ2009

開催日 8月2日(日)

8時20分～16時

場 所 糸ヶ浜海水浴場

●ビーチバレー大会

- 募集チーム数 64チーム(先着順)
- 参加料 1チーム3,000円
- ルール 男女混成4人制
(女性2人がコートに入る)

●サンドアートコンテスト

- 募集チーム数 15チーム(先着順)
- 参加料 無料
- ルール 1チーム10人まで

●ビーチフラッグス大会

- 募集人数 各部30人(先着順)
- 参加料 無料
- 種目 小学生の部・中高生の部・一般の部
(それぞれ男女別)

●ビーチ水鉄砲大会

- 募集チーム数 16チーム(先着順)
- 参加料 1チーム1,000円
- ルール 1チーム5人(小学4年生以上)

上記のほか、ビーチ宝さがし大会など、当日受付のお楽しみイベントもあります。

●申込・問合せ先

糸ヶ浜ビーチフェスタ実行委員会事務局
TEL:72-4255
FAX:72-9044
ホームページ: <http://hiji-townnavi.jp>
メールアドレス: kankou-kyoukai.hiji@fuga.ocn.ne.jp

危険物取扱者保安講習

▼受付期間 7月27日(月)～8月

くください。実施要領と申込用紙を送ります。
▼申込・問合せ先 大分県ナースセンター
〒870-0975
34-8118 FAX097-537-2155

3日(月)

▼受講手数料 4,700円

▼対象者 次のいずれかに該当する方
○平成20年4月1日以降に、危険物製造所等で危険物取扱作業に従事している者。(平成19年4月1日以降に免状の交付又は保安講習を受けている方は除きます)
○平成18年4月1日から平成19年3月31日までに免状の交付又は保安講習を受け、危険物取扱作業

に従事している者。

○その他の危険物取扱者で今年度受講を希望する者。

*受講義務者で受講しなかった者は、免状の返納を命ぜられることがあります。

*講習区分、日程、場所については、問い合わせください。

▼申込・問合せ先 杵築速見消防組合

☎0978-62-4341

差別をなくす運動月間県民講座

県民の学びの場として、参加者の知識や関心の度合いに対応した県民講座を開催します。

▼とき 8月5日(水) 10時20分～16時

▼ところ 大分市コンパルホール

▼内容

【講演】10時30分～12時

文化ホール

【ワークショップ】13時～16時

多目的ホール

▼問合せ先 大分県人権同和対策課

☎097-536-1111

心をこめたお料理と 新鮮な魚でおもてなし

ご宴会・祝事・仏事・お食事

割烹・鮨 **幸喜屋**

送迎バス有

日出町(JR湯谷駅前)
TEL 0977-72-2421

相談

行政書士会による無料相談会

遺言、遺産相続、成年後見相談、不動産関連、建設業許可申請、法人設立などの相談を無料で受け付けます。

▼とき 7月15日(水) 13時～16時

▼ところ 大分県行政書士会
大分市城崎町1-2-3 大分県住宅供給公社ビル3階

▼問合せ 大分県行政書士会
☎097-537-7089

入国・在留・国籍手続無料相談会

行政書士や社会保険労務士が入国や在留、国籍手続の無料相談会を開催します。

英語と中国語の通訳がいます。

▼とき 8月2日(日) 13時～16時

▼ところ いいちこ総合文化センター
1地下1階 国際交流プラザ

▼問合せ オフィスホンダ
☎097-534-5432

年金無料相談会

日出町商工会が年金の無料相談会

夏の事故ゼロ運動

夏季は行楽等による開放感、暑さからくる疲れなどにより、交通事故の多発が予想されます。そこでこの運動を契機に、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことによって、悲惨な交通事故の根絶を図ることを目的としています。

- 期間 7月15日(水) から7月24日(金) まで
- 重点項目 ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底・二輪車、自転車運動中の交通事故防止・飲酒運転の根絶
- 問合せ 生活環境課 ☎73-3128

その他

教員免許更新制導入

平成21年4月1日から、教員免許更新制が導入されました。

現在、教職に就いていない方が教諭、臨時講師、非常勤講師等を希望する場合は、生年月日によって定められた期限までに、大学等で免許状更新講習を受講しなければなりません。

▼問合せ 大分県教育長教育人事課
☎097-506-5518

船舶運航技術を学ぶ・体験入学

優秀な船舶運航技術者の育成を目的としています。卒業生には、海技資格における特典と高等学校卒業同等資格が付与され、海運界はもろもろその関連産業を中心に幅広く活躍しています。

▼体験入学

○国立唐津海上技術学校 7月18日(土)・10月17日(土)

○国立口之津海上技術学校 7月20日(月)・9月19日(土)

▼資料請求・問合せ

・唐津校 佐賀県唐津市東大島町13

リフォーム・新築工事

既存建物の耐震化工事行います



仲良く 楽しく 誠実に
有限会社 **樋口建設**
樋口 浩 一級建築士事務所
一級施工管理技士、木造住宅耐震診断士

日出町 3408-2(産業道路入口) ☎ 72-8486
http://www.higuchiy.com FAX 72-9595

腎臓内科 循環器科 内科 血液透析



こうまつ内科クリニック

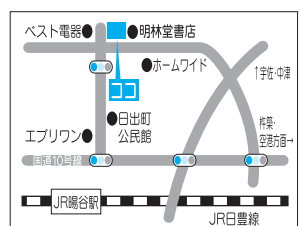
医療法人 泰晋会

日本循環器学会認定 循環器専門医

医学博士 院長 幸松晃正

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ～12:30	●	●	●	●	●	●
14:30 ～18:00	●	●	●	休	●	●
休診日:日曜・祝日						

速見郡日出町3852番地6ベスト電器前
☎(0977)73-0077
http://koumatu.or.jp/



15 ☎ 0955-72-8268
 ・口之津校 長崎県南島原市口之津
 町5782 ☎ 0957-86-2
 151

中小企業事業主の皆様へ退職金の準備は万全ですか

中退共制度は中小企業で働く従業員のための外部積立型の国の退職金制度です。

- ・適格退職年金制度からの移行先。
- ・掛金の一部を国が助成。
- ・掛金は全額非課税。
- ・管理が簡単。
- ・掛金以外の経費はなし。

▼**問合せ先** 中小企業退職金共済事業本部 ☎ 03-3436-0151
<http://chutai-kyo-taisyokukin.go.jp/>

国民年金の「保険料免除制度」

国民年金には、経済的な理由で保険料（月額14,660円）の納付が困難な場合は、申請手続きをすることにより、保険料の納付が免除又は一部免除となる制度があります。これらの制度を利用する場合には、本人、配偶者、世帯主の前年所得がそれぞれ一定の基準額以下であることが条件です。

▼**問合せ先** 住民課年金係 ☎ 73-3122

福祉・介護の職場を体験

福祉・介護の仕事に関心をお持ちの方であればどなたでも結構です。

▼**体験期間** 8月17日（月）～9月18日（金）のうちの2日間又は3日間

- ▼**体験場所** 県内の社会福祉施設
- ▼**参加費** 無料
- ▼**申込・問合せ先** 大分県福祉人材センター ☎ 097-552-7000

求人情報

【正社員】

- 解体作業員3人 ●清掃作業員2人
- タクシー運転手2人 ●薬剤師4人
- コンピュータによる機械製図及び情報システム管理（障がい者）3人
- 電気技術者1人 ●電気工事士2人
- 歯科衛生士1人 ●現場管理者（電気施工）1人 ●放射線技師1人 ●正・准看護師15人 ●事務補助（障がい者）2人 ●ガソリンスタンド販売員1人 ●ショップスタッフ2人 ●自動車塗装工1人 ●営業2人 ●商品企画・デザイン作成1人 ●幹部社員2

- 人 ●営業所管理職員1人 ●住宅アドバイザー1人 ●プラスチック成形品の検査2人 ●ルート配送1人 ●プラスチック成形工2人 ●現場管理者（管工事）1人 ●工場内作業員2人
- 【パート】
- 調理補助1人 ●調理補助・接客1人 ●介護職7人 ●正・准看護師3人
 - 冠婚葬祭アシスタントポスティング及び営業1人 ●弁当製造又はレジ業務6人 ●薬剤師5人
- ▼**問合せ先** ハローワーク別府 ☎ 23-8609 日出町商工観光課 ☎

ペットボトルのキャップがワクチンに！

大神母親クラブでは、エコ活動の一環で、ペットボトルのキャップを回収しています。

集まったキャップで世界中の子どもたちにワクチンを送ることができます。

ご協力をお願いします。

●**回収場所** 日出町地域子育て支援センター（大神保育園内）の玄関。

●**問合せ先** 大神母親クラブ ☎ 72-0327

消化器科・肛門科・外科・内科・泌尿器科・人工透析



医療法人
久寿会

鈴木病院

速見郡日出町3904番6
TEL(代) 0977-73-2131

併設施設

**すずらんクリニック
介護施設すずらん**

速見郡日出町藤原1691番地1
TEL(代) 0977-73-2151

<http://www.suzuki-hp.or.jp>

情報×医療×デザイン=IVY

平成21年 春期国家試験「基本情報技術者」

合格率大分県No.1

IVY合格率45%

大分県専門学校合格率17.6%

体験入学会

7月 時間10:00~15:00 (ランチ付)

5日(日)・11日(土)・
25日(土)・26日(日)

【医療ビジネス学科】
医療秘書科

99% 99%

【情報デザイン学科】

情報システム学科 情報ネットワーク学科
情報デザイン学科 情報デザイン学科
デザインアート学科 情報デザイン学科

専門学校 **IVY 総合技術工学院** ☎ (097)537-2471

〒870-0037 大分市東春日町51番3(ソフトパーク内) URL <http://www.ivy.ac.jp> E-mail ivy@ivy.ac.jp

日出町の人のうぶさ

平成21年6月1日現在の
住民基本台帳の登録人口

人口	28,502 (-31)	-30
男	13,655 (-31)	-37
女	14,847 (±0)	+7
世帯数	11,252 (-16)	±0

南端	317 (+1)
豊岡	7,178 (+9)
日出	5,795 (-31)
藤原	3,843 (+9)
川崎	5,829 (-19)
大神	5,540 (±0)

()内は前月比
□内は今年4月1日比

日曜・祭日
在宅当番医



- 7月5日(日) 真那井診療所72-5270
- 12日(日) 酒井医院72-2624
- 19日(日) 日出見玉病院72-2724
- 20日(月) 矢野小児科医院72-1011
- 26日(日) 鈴木病院73-2131
- 8月2日(日) サンライズ酒井病院72-2266
- 9日(日) 大石内科医院72-2121
- 13日(木) 岡田内科クリニック28-0101
- 14日(金) 日出中央医院72-2534
- 15日(土) 日出見玉病院72-2724
- 16日(日) 八重眼科医院73-1221
- 23日(日) 鈴木病院73-2131
- 30日(日) サンライズ酒井病院72-2266

※診療時間 9:00~17:00

※発行後に変更の場合があります。

各医療機関や日出町健康増進課
73-3130にご確認ください。

7月の納税等 期限7月31日(金)

固定資産税	2期
国民健康保険税	2期
介護保険料	2期
後期高齢者医療保険料	1期
上下水道料	7月分

7月の主な行事

1日(水)	糸ヶ浜海水浴場海開き
19日(日)	子どもスポーツ大会

お詫びと訂正

先月号の「城下かれい祭りフォトアルバム」の記事中、「豊岡保育園の園児によるもちつき」とあったのは、正しくは「日出保育園の園児」です。お詫びして訂正します。

暘谷の恵み “おさかな談義”

その8 ハモの話



ハモは、夏の味覚のひとつ。古来、京都では瀬戸内海でとれる梅雨明けのハモを最高級として、祇園祭りに食べる風習がある。

平成18年の大分県下の漁獲量は、476トンで全国第3位。杵築が最も多く、2番目に日出町が続く。その日出町の年間漁獲量は

43.4トン、生産金額は1,150万円。日出町でとれる魚のなかではカタクチイワシ、イボダイに次いで多い。(平成18年大分県農林水産統計)

体形は円筒形で全長2mに達する。鋭くとがった歯が、大きく裂けた口にずらりと並び、ギョロリとした目は見るからに猛々しい。

生活力旺盛で、船に揚がってもやたら嘯みつくので「食む」がなまったという説が有力だ。

関東では、近くの海で捕れないこともあって関心が薄い、関西ではきわめて人気が高い。

ただしハモには長くて硬い小骨があり、「骨切り」という下処理がいる。まず腹開きにして、背骨を取った後に、皮を切らないように細かい切れ込みを入れる。目安は、3cmに26筋入れる。難しい技術だ。京都錦市場を訪ねたときに調理場を覗いたら、ほとんどの店で専用の「骨切り機」が使われていた。

骨切りした身を熱湯に通すと、反り返って白い花のように開く。これを「湯引きはも」または「牡丹はも」と呼ぶ。



夏は梅肉、ポン酢に紅葉おろしを付けた湯引き。冬はしゃぶ鍋(はも鍋)が美味しい。県下では、中津のはも料理が有名だ。

京都では、特にハモを珍重し、湯引きのほか、すまし、甘煮、蒲焼、てんぷらにする。皮も焼いたものを刻み、キュウリ揉みなどにすると、皮に多いコンドロイチンの働きで老化防止にもなるといわれている。

スーパーや魚屋では、骨切りしたものが売られているが、鮮度がよくないと湯引きの花が開かない。朝市で仕入れたものを、嘯まれないように注意して、骨切りにチャレンジしてみたいかがだろうか。

日出町農林水産課水産専門員 上城 義信(談)